

平成21年度 第1回宝塚市立図書館協議会 会議録

1 開催日時及び場所

平成21年9月4日（金） 午前10時30分～12時

宝塚市立中央図書館 研修室

2 出席者

委員（8名）

松田委員、瀧川委員、織田委員、仲谷委員、  
上野委員、三宅委員、安積委員、菌部委員

事務局（9名）

社会教育部長（鷹尾部長）

中央図書館（坂上館長、西田副館長、近藤係長、西川係長、  
栗井）

西図書館（徳田館長、田野係長、花村係長）

3 傍聴者

1名

4 協議経過等

(1) 委員委嘱辞令交付

(2) 事務局あいさつ（社会教育部長）

(3) 委員長選出

仲谷委員を委員長に選出

(4) 議事

① 平成20年度事業報告

事務局より、「宝塚市立図書館年報 平成21年版（平成20年度）」に基づき、最近の状況等も踏まえて説明。

〔説明〕

(図書館施設)

昭和55年建設で来年で30年目となる阪急清荒神駅前の「中央図書館」、平成6年建設で今年15年目となる阪急小林駅前の「西図書館」、平成4年開設で中山台コミュニティセンターの中に設置している「中山台分室」の、2館1分室で運営されており、これらをカバーする部分として、市内25箇所を、「移動図書館車（すみれ号）」で巡回をおこなっている。

(最近の動き)

・平成20年3月に、「宝塚市子どもの読書活動推進計画」を策定し、平成21年4月に、

「宝塚市子どもの読書活動推進計画実施計画」を策定した。また、平成21年2月に、「顧客満足度調査」を実施した。

- ・平成21年5月18日～24日の期間、新型インフルエンザ対策のため、図書館を臨時休館した。

(今後、流行のきざしがあるので、来館者の手洗い、職員の防止用マスク着用等の対策について、市対策本部の動向も踏まえて検討していきたい。)

- ・平成21年6月に、西図書館入口にICタグゲート(貸出手続確認装置)を設置した。貸出禁止の本に、ICタグを貼り付けることにより、無断持ち出しの場合、ゲートの通過時に、音の反応で確認ができ、盗難防止を目的としている。なお、中央図書館には、平成18年6月に設置済である。

(貸出禁止以外の本にもICタグを貼る場合、1件100円として50万冊で、5,000万円の経費が必要となる。また、図書館のコンピュータシステムについては、平成23年度に、ICタグ対応が可能なシステムに更新する予定であり、今後の対応について検討していきたい。)

(図書館協議会)

- ・図書館法第14条の規定を受け、宝塚市図書館条例により、昭和55年から設置されており、所掌事務としては、宝塚市図書館協議会規則により、図書館の行う奉仕について、館長の諮問に応じるものとされている。阪神間では、本市以外では、芦屋市、伊丹市、川西市が設置している。
- ・昨年度の会議録については、「宝塚市のホームページ」の中で掲載している。なお、市のホームページから、「図書館のホームページ」にリンクされていて、案内・お知らせ等の情報発信を図書館から行っている。

(蔵書数)

- ・蔵書数は、平成20年度末で、55万1,922冊で、図書館別に見ると、中央図書館が31万9,008冊(58%)、西図書館が17万4,255冊(31%)、中山台分室が2万7,295冊(5%)、移動図書館が3万964冊(6%)となっている。
- ・平成20年度購入冊数が約1万8,000冊、リサイクル処理等で市民への無償配布分が約1万5,000冊で、平成19年度末と比較して、差引き約3,000冊の増となっている。
- ・図書館書架の容量として、開架書架と閉架書架を合わせて約56万冊であり、約98%の充足状況になるが、古い本もかなり含まれている。

(今後、限られた予算で、図書の更新を行っていく中で、新鮮な資料の提供等の市民ニーズに応えていくことが課題である。)

(雑誌)

- ・雑誌については、中央図書館107件、西図書館141件で、西図書館の方が34件多くなっている。

(どちらかの館にしかない雑誌については、利用者の要望等も踏まえて、今後、図書選定委員会で検討していきたい。)

(視聴覚資料)

- ・視聴覚の資料で、昨年より増となっているのは、コンパクト・ディスクとDVDのみであるが、寄贈されたものである。
- ・最近では、予算削減の影響で、ほとんど購入できていない。

(今後、視聴覚の位置付けをどうしていくのか検討したい。)

(利用券登録者)

- ・本市の統計としては、「過去3年間に利用のあった登録者数」を基準としており、市内在住者が51,143人、阪神間の他市町の相互利用者が4,144人、宝塚市に在勤・在学者が198人の、合計55,485人となっている。

なお、過去1年間に利用のあった登録者に限定すると、36,737人となる。

(阪神広域利用による登録者数)

- ・阪神間7市1町の住民は、相互に利用できる形になっており、宝塚市民22万人余のうち、約20%、合計42,037人が他市町の図書館に登録している。そのうち、約70%、29,744人が川西市立図書館に登録している。
- ・宝塚市立図書館には、他市町の住民の登録が合計4,144人で、そのうち、西宮市民が66%、2,749人となっている。

(貸出冊数)

- ・個人への貸出冊数は、全館で年間165万7,165冊となっており、館別の内訳としては、中央図書館が44%、西図書館が45%、中山台分室が6%、移動図書館が5%である。前年度と比較して、冊数で5万7,196冊の増、率にして3.6%の増となっている。
- ・館別に比較すると、中央図書館が73万6,319冊の貸出冊数に対して、西図書館が75万2,186冊で、西図書館の方が1万5,867冊多くなっている。  
内訳としては、西図書館の方が、一般書で2万7千冊余多く、児童書で2万7千冊余少なく、雑誌で1万6千冊余多くなっている。
- ・分類別に見ると、一般図書の中では、「日本の小説」が32万8千冊余で31%と最も高く、児童書の中では、「絵本」が25万5千冊余で47%と最も高くなっている。

- ・一日平均貸出冊数は、前年度と比較して、中央図書館が5%の増、西図書館が2%の増、中山台分室が5%の増、移動図書館が3.8%の増となっている。

#### (貸出人数)

- ・平成20年度の貸出人数は、全館で46万7,956人で、対前年比2万2,301人(5%)の増となっている。

#### (移動図書館車)

- ・2館1分室の図書館を補完するものとして、25箇所のステーションを対象に、月2回、年間25回巡回している。  
(現在の車両は、平成13年3月の購入であり、平成22年度で10年を経過するので、今後更新を考えている。)

#### (利用者満足度調査)

- ・平成21年2月に行った調査を見ると、中央図書館、西図書館、移動図書館の各々の「館の総合評価」の満足度(「満足」と「やや満足」を合計した割合)は、80%台であり、「宝塚市の図書館全体の総合評価」は、70%台である。  
なお、中山台分室については、「館の総合評価」及び「宝塚市の図書館全体の総合評価」ともに、60%台であり、分室の利用時間・曜日等に制約があることが原因ではないかと思われる。

#### (決算見込)

- ・平成20年度決算見込のうち、「18. 備品購入費」のうち「資料購入費」が、図書の購入費であり、中央図書館1,392万円、西図書館が1,106万円、合計2,498万円で、平成6年度決算5,100万円の半分以下になっている。  
なお、年度途中で、市財政危機に対応する措置として、備品購入費の執行残額について執行停止することになり、当初予算額2,640万円に対して、約141万円の執行停止に至った。

#### (他市図書館との比較)

##### [阪神間比較]

- ・阪神間の各市町で、人口、図書館数、市民1人あたり資料費が異なるため一律の比較はできない面はある。
- ・本市の「市民1人あたり貸出冊数」は、7.4冊で、猪名川町、三田市、芦屋市、西宮市に次いで、5番目となっている。今後の目標としては、8冊までもっていきたいと考えている。

- ・本市の「市民1人あたり資料費」は、153円で、猪名川町、芦屋市、伊丹市、三田市に次いで、5番目となっている。

(同規模市〔人口20万人台〕との比較)

- ・人口20万人台の同規模市は全国に39市あり、「市民1人当たり貸出冊数」を指標として見た場合、本市は7.1冊であり、7番目である。  
上位20市をみた場合、本市の「市民1人当たりの資料費」が143.2円と最も低い状況でありながら、「市民1人当たり貸出冊数」が7番目ということで、努力している結果だと認識している。

[委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明]

(委員)

- ・利用者アンケート調査の結果を見ると、利用者の総合評価の満足度はかなり高い。  
しかし、「蔵書に読みたい本があるか」の質問に対しては、「満足」が中央図書館18%、西図書館が19%と低くなっている。
- ・図書館だよりを見ていると、話題本は予約が多くて、自分が読めるのに何ヶ月かかるのかという感じがするが、話題本の購入冊数が少ないのか。

(事務局)

- ・「蔵書に読みたい本があるか」の質問に対して、満足の割合が低いのは、図書費が削減されている点が影響しており、図書費の充実が求められる。
- ・「話題本」の予約は、確かに多い。話題本は、通常10冊を限度として購入しているが、今話題になっている「1Q84」は、10冊よりも多く購入している。

(委員)

- ・図書費がピーク時の半分以下になっている状況の中で、雑誌について、現状の種類を今後も購入していくのか。利用者の要望がある本も、他にあるだろうし、予算全体の配分を見直すことは可能か。
- ・一般的な雑誌を楽しみにされている方も多いが、雑誌については、専門性の高いもの、個人では買えないもの等にしぼりこみ、図書費の方を優先できないか。

(事務局)

- ・予算の区分が、雑誌は、2～3年で廃棄するので「消耗品費」、図書の購入費は、「備品購入費」になる。予算の区分が異なっており、配分の見直しも難しい面がある。
- ・雑誌は手軽に読めて、本にはない魅力もある。本市の場合、他市と比較して、雑誌は多い方ではない。

## ② 平成21年度事業の取組みについて

事務局より、これまでの開館時間延長の試行、及び、平成21年度新規事業について説明。

### (開館時間延長の試行)

- ・開館時間延長については、平成16年度、平成19年度、平成20年度に引き続き、平成21年度も試行をおこなっている。
- ・延長時間については、カウンター業務を対象として、午後6時までを1時間延長して、午後7時までの開館としている。
- ・試行対象期間、曜日については、次のとおりである。
  - ・平成16年度は、中央図書館が9月～10月、西図書館が10月～11月の時期に、金曜日を対象に実施。
  - ・平成19年度は、中央図書館が9月～10月、西図書館が10月～11月の時期に、月曜日、金曜日、土曜日を対象に実施。
  - ・平成20年度は、中央図書館、西図書館とも、7月～10月の時期に、土曜日を対象に実施。
  - ・平成21年度は、中央図書館、西図書館とも、6月～9月の時期に、土曜日を対象に実施。
- ・延長試行にかかる経費は、平成21年度で、人件費(2名)と光熱水費で、約34万円である。
- ・これまでの試行結果を見ると、曜日では月曜、金曜、土曜日の中で土曜日の利用が最も多く、月別では、7月、8月の夏の時期の土曜日の利用が最も多い。
- ・阪神間では、図書館の立地条件等が異なるが、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、猪名川町で開館延長が行われている。

### (平成21年度新規事業)

#### (ア) 絵本の読み聞かせボランティア養成講座(中央図書館)

「子どもの読書活動推進計画」における取り組みの一つとして、読み聞かせボランティアを養成し、図書館・児童館・保育所など子どもに関係する市内の施設に派遣することを目標として、定員20名で、10回の講座を実施している。講座を終了した受講生には、ボランティアとして登録してもらい、平成22年度から、図書館及び市内各施設で読み聞かせを行う予定である。

#### (イ) 児童書蔵書の充実(中央図書館、西図書館)

新刊図書の購入とは別に、「子どもの読書活動推進計画」の主旨に沿って、主に、4つの分野(「本はともだちコーナー」、「団体貸出(学校対象)用図書」、「行事用大型本」、

「はじめての絵本コーナー」)を重点に、児童書の補充・充実を図る。同計画用に確保した予算(中央図書館、西図書館で各100万円)で、既に執行済で、約1700冊を補充した。

(ウ) 児童書のリサイクルフェア(西図書館)

児童書の補充・充実により、図書館で不用となった児童書約2000冊を、市内公共施設向けに配布し、図書館の他にも子どものための本がある環境が整うように努める。

[委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明]

(委員)

- ・ボランティア養成講座への参加は、有償なのか無償なのか。
- ・ブックトークについては、将来的に考えているのか。

(事務局)

- ・講座の講師に対しては、謝礼を支払っているが、参加者は無償での参加である。
- ・ブックトークは、技術のいるもので、その担い手を養成していくことは、今後の課題であると考えている。

[その他意見等]

(委員)

- ・市民に開かれた図書館として、文化の発信ができればと思う。

(委員)

- ・若いお母さん方、他市から転入された方から、学校図書館や市の図書館の本が少ないという声を聞いていて、厳しい財政状況下で、予算が削減されている状況に対して、問題意識を持っている。

(委員)

- ・図書館に「おすすめ本」コーナーがあり、その中の本を自分で選んで利用している。市民へのリサイクルについて、今後利用してみたい。

[利用者の要望について]

(事務局)

- ・現在の開館時間は、午前10時から午後6時までですが、利用者から、「今の時代10時からというのは遅いと思うので、始まりを30分早めて9時30分からにしてほしい。」との要望が、最近あった。

- ・限られた予算の中で、30分早めて9時30分からにすると、終わりも30分早めて午後5時30分までとせざるを得なくなる。図書館としては、利用率等から見て、現在の開館時間の方がいいと考えている。
- ・昨年度の開館時間延長の利用者アンケートを見ると、開館時間延長の1時間の利用よりも、図書充実を望む意見の方が多かった。
- ・利用者の意見・要望等については、今後も、真摯に受け止めていきたい。

## 5 閉会